



速報リリース

コレクション展

百椿図 一椿をめぐる文雅の世界—

One Hundred Camellias: Blossoms Heralded in Literature

2012年1月7日[土]～2月12日[日]

[休館日] 月曜日 ただし1月9日(月・祝)は開館、翌10日(火)休館



【1】



【1-2】百椿図 江戸時代 17世紀 2巻 根津美術館蔵

根津美術館では、2012年1月7日[土]から2月12日[日]まで、コレクション展「百椿図 一椿をめぐる文雅の世界—」を開催いたします

椿は照葉樹林帯を代表する花木であり、日本でも奈良時代以来、親しまれた植物です。早く万葉集にも詠じられ、さまざまな絵画作品にも描かれてきましたが、江戸初期、空前の椿園芸ブームのなかで珍しい品種への注目が高まり、そのなかで多種多様な椿を集めた書物や図譜が制作されました。

平成6年に茂木克己氏より当館に寄贈された「百椿図」は、2巻の巻物に100種以上の園芸品種の椿を描きだした作品です。単に椿の花を描くのではなく、さまざまな身の回りの器物に飾ってあらわしています。丹波（現在の兵庫県）篠山藩主・松平忠国（1592～1659）が作らせたもので、絵の筆者は京狩野家の祖・狩野山楽と伝えられています。また図の多くには、当時を代表する文化人たちが、園芸品種としての風情ある名前とともに漢詩や和歌などの賛を寄せており、当代における椿愛好の高尚をうかがうことができます。

本展では、「百椿図」2巻、計約24メートルをほぼすべて広げて展示、その全貌をご覧いただきます。室町時代の花鳥画や江戸時代の工芸品など関連する椿図とあわせて、新春を華やかに飾ります。

100種類以上の園芸椿のオンパレード



「百椿図」には、「本之巻」「末之巻」の2巻の巻物に、合計68図の椿が描かれています。1図に2種類以上の椿を描くものも少なくなく、合計すると100種類以上の園芸品種の椿が登場します。現在は伝わっていない品種もあり、往時の椿の顔ぶれを目にすることができます。

江戸時代のフラワーアレンジメント



単に椿の花を描くのではなく、様々な器物を花器に見立て、そこに椿をあしらってあらわすのが「百椿図」の大きな見所。陶磁器の花瓶や水指、さまざまな材質の籠、三方や高杯といった台はもとより、盃や茶碗などの食器、文箱や硯箱などの文房具、扇や団扇、あるいは鼓、色紙や冊子や熨斗、はては聖護院大根にいたるまで、身の回りの品に椿を自由に配しています。

椿をめぐる雅な文学の世界



江戸初期の椿愛好を支えたのは当時の上流階級の人々。珍しい品種を求める椿マニアも少なくありませんでした。「百椿図」には皇族や門跡、公家や大名、歌人や連歌師、俳人、国学者や儒学者、僧侶など49人が和歌や漢詩の賛を寄せています。49人のうちの一人で「末之巻」の最後に着賛している松平忠国とその息子・信之が二代にわたり、賛を書いてもらったようです。

[その他の展示作品]



【3】色絵椿輪花向附 尾形乾山作 5口
江戸時代 18世紀 根津美術館蔵

可憐で、かつ明確なかたちを持つ椿。尾形乾山は、椿の花びらを器の内外、さらに縁の形状にアレンジして、それまでに無い洒落た向付をつくりました。



【4】花鳥図 式部輝忠筆 2幅のうち 室町時代 16世紀 根津美術館蔵
椿の絵画化は、日本では鎌倉時代にさかのぼります。室町時代には、水墨画系の画家たちが椿を好んで題材として、定式にとらわれない、写生味のある椿図を描いています。

Fax : 03-3400-2436 根津美術館 広報

■画像を希望される方は、【1】～【4】の希望の画像にチェックを入れ広報へご返信下さい

【1】	【1-2】	【3】	【4】
-----	-------	-----	-----

ご紹介いただく媒体についてお知らせください。

媒体名		会社名	
ご担当者名	様	E-mail	
ご掲載予定日			
住所	〒		
TEL		FAX	

[開催概要]

- 【展覧会名】 コレクション展「百椿図 一椿をめぐる文雅の世界」
- 【主催】 根津美術館
- 【開館期間】 2012年1月7日[土]～2月12日[日]
- 【開館時間】 午前10時～午後5時 [入館は午後4時30分まで]
- 【休館日】 毎週月曜日 ただし1月9日[月・祝]は開館、翌10日[火]休館
- 【入館料】 一般1000円 学生800円
* 20名以上の団体、身障者手帳提示者および同伴者1名は200円引き
* 中学生以下は無料
- 【前売券】 一般900円 学生700円
*2011年11月16日[水]～12月25日[日]受贈記念特別展「中国の陶磁・漆・青銅」
開催期間中、根津美術館ミュージアムショップにて販売
- 【アクセス】 地下鉄銀座線・半蔵門線・千代田線〈表参道〉駅下車
A5出口(階段)より徒歩8分、B4出口(階段とエスカレーター)より徒歩10分、
B3出口(エレベーターまたはエスカレーター)より徒歩10分
- 【住所】 〒107-0062 東京都港区南青山6丁目5番1号
- 【お問い合わせ】 TEL 03-3400-2536 (代表)
- 【ホームページ】 <http://www.nezu-muse.or.jp>
- 【携帯サイト】 <http://www.nezu-muse-app.jp>
*携帯サイトは、機種により閲覧できない機能があります。
- 【専用アプリ】 「App Store」・「Android マーケット」から [根津美術館](#) を [検索](#)



<次回展>

特別展 「虎屋のお雛さま」

2012年2月25日[土]～4月8日[日]

極小雛道具の名品。和菓子の老舗、虎屋に伝わるお雛様が、6年ぶりに展示されます

[最新情報]

第2回「はじめてのお茶会 一雛まつりの席」 2012年3月8日[木]開催
一虎屋のお雛さま 開催期間 11/16～販売開始

この秋、はじめて販売し好評だった「はじめての茶席 一秋を楽しむ」の第2弾として、明年「虎屋のお雛さま」開催期間中となる3月8日[木]、「はじめてのお茶会 一雛まつりの席」を開催します。この茶会では展示とあわせ虎屋の雛菓子をご一緒にお楽しみいただきます。
販売は、「中国の陶磁・漆・青銅」会期初日11月16日[水]より、美術館受付にて販売。定員になり次第終了となります。

<リリース・広報のお問い合わせ>

担当:鎌倉/羽田/白原

TEL 03-3400-2538 広報(直) FAX03-3400-2436 MAIL: press@nezu-muse.or.jp